

天文現象

6/4 水星が東方最大離角
…地球から見て水星が太陽の最も東側にあるとき。最大離角の前後は水星が見つけやすくなります。特に今回は水星の高度が高い時期に当たるため、5/20頃～6/14頃の長期にわたり、夕方、西の空で見つけやすくなります。

6/6 満月
半影月食
…月が地球の薄い影の部分に入り、暗く見える現象。肉眼ではわかりにくい現象ですが、4:25頃最も暗くなります。

6/9 月、木星、土星が並ぶ
(明け方、南の空)

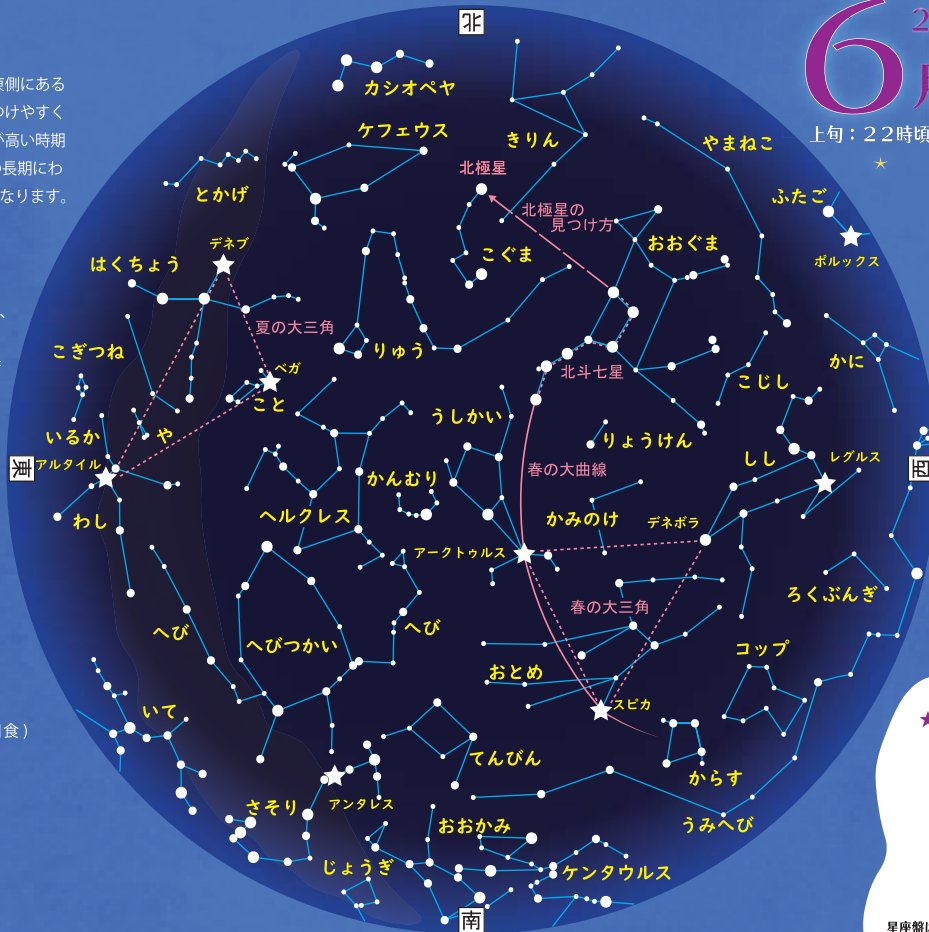
6/13 下弦
月と火星が並ぶ
(明け方、東の空)

6/21 夏至
新月
部分日食
(台湾・中国の一部地域では金環日食)

6/28 上弦

星空ニュース 2020. 6月の星空

上旬：22時頃 中旬：21時頃 下旬：20時頃



- ★ 1等星
- 2等星
- 3等星
- 4等星以下

★星座盤の使い方



星座盤は空にかざして方位を合わせてみて！
空と重ねると…東西の向きが正しくなるよ。

ワンポイント星座



からす座

からす座は春の星座探しの目印となる「春の大曲線」の先にあります。暗い夜空で特に目立つ小さな四辺形は、ウソをついたカラスを天にはりつけている4つの銀の釘（くぎ）だという神話があるほか、ヨットの帆、テント、はかまなど国や地域によって様々なものに例えられています。

今年は制定から100年！

今月のポイント 時の記念日

6月10日は「時の記念日」です。

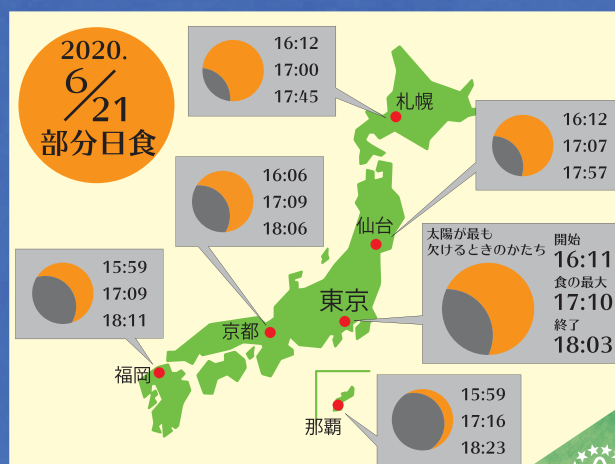
これは671年6月10日に天智天皇が漏刻（ろうこく）と呼ばれる水時計を設置して鐘や太鼓を鳴らして時を知らせたことに由来し、1920年に制定された記念日です。

時計の歴史は非常に古く、数千年前の古代エジプトでも水時計が使われていた証拠が発見されています。古代エジプトにおける時計は天体の動きとも関わりが深く、太陽光による影を利用した日時計、特定の星の位置観測による星時計も用いられていました。

今年の時の記念日は星をゆっくり眺めながら時を感じる機会にしてはいかがでしょうか。

コラム 部分日食を見よう

今年の6月21日は日本全国で部分日食を見ることができます。東京では日の入り前の夕方に、太陽の4割ほどが欠けて見えます。日本の南西へ行くほど太陽は大きく欠け、沖縄では太陽面積の8割ほど欠けてしまいます。日食グラスなど必要な道具を用意して、安全に太陽を観察してみましょう。また、この日はちょうど夏至でもあります。まるで頭の真上から照り付けるような昼間の太陽と、遅い時刻の日没もあわせてお楽しみください。



へろろく ©dwarf/多摩六都科学館